

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第2回武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会
開 催 日 時	令和3年7月30日(金) 14時00分～15時30分
開 催 場 所	武蔵村山市役所 さくらホール展示室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：徳増委員、田中委員、栗原委員、石川委員、中澤委員、 須崎委員、斉藤委員 欠席者：松原委員、内野委員、小野寺委員 事務局：協働推進部長、同部産業観光課長、同部産業観光課商工 係長、同部産業観光課商工係主事、コンサルタント会社 ((株) 地域計画建築研究所)
議 題	1 開会 (1) 新任職員の紹介 (2) 会議資料の確認 2 報告事項 (1) 第1回武蔵村山市産業振興ビジョン策定委員会会議録(要旨) について (2) 「武蔵村山市産業振興ビジョン」策定のためのアンケート調 査報告書について 3 議題 (1) 産業振興ビジョンの骨子について (2) その他 4 閉会
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	議題(1)について： 将来像は「市民と事業者がきずなをつむぐ 賑わいのあるまち む さしむらやま」とし、庁内委員会に諮る。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。) (発信者) ◎印=座長 ○印=委員 ●印=事務局	1 開会 (1) 新任職員の紹介 (2) 会議資料の確認 2 報告事項 (1) 第1回武蔵村山市産業振興ビジョン策定委員会会議録(要旨) について 事務局より資料1に沿って説明。 (質疑) ● 修正箇所があれば概ね1週間以内に連絡いただきたい。 (2) 「武蔵村山市産業振興ビジョン」策定のためのアンケート調 査報告書について 事務局より資料2に沿って説明。 (質疑) ○ 多摩地区の製造事業者から工場が手狭になり移設または第二工 場の建設を検討しているという話をしばしば聞く。そのような 事業者から市内に場所がないので他の市町村での工業団地の整 備予定がないか情報提供を求められる。しかし、今回のアンケ ート結果では工業団地の整備は特に求められてはいないよう だ。 ◎ 新設の工業団地ではなく、工場の跡地や遊休地を活用したいと いう相談はあるか。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空いているところがないかという相談はある。空いている土地等の情報が入手しづらいと聞く。 ◎ 仲介等の仕組みがあると市内で操業が継続できる。銀行に用地情報等は入ってこないのか。 ○ 情報は入ってくるが、銀行は比較的に事業規模が大きい企業を対象とした情報を収集している。武蔵村山市は零細企業が多いため、支援策としては市が主導するビジネスマッチング等が求められているのではないか。多摩地域内でのビジネスマッチングを希望する回答があるが、他の地方自治体と連携していないのか。 ● 他の地方自治体と連携したビジネスマッチングは行っていないが多摩工業交流展がある。武蔵村山市は多摩工業交流展に補助金を出して商工会の協力の下に市内事業者の出展、ビジネスマッチングの機会を確保している。 ◎ 商工会では異業種交流、ビジネスマッチングを積極的に行っているのか。 ○ 武蔵村山市商工会だけでは規模が小さいので、連合会が市町村の商工会に声をかけて実施している。その事業に市からの補助が出ている。 ◎ 多摩工業交流展はTAMA協会が主催しているのか。 ● 実行委員会形式で、主体は立川商工会議所である。多摩地域の商工会、多摩信用金庫がメンバーに入っている。多摩地域の5市が補助金を交付している。 ○ 農業は地産地消や市内の幼稚園・保育園での食育を推進したいので、市外よりも市内事業者との交流が多い。 ○ 道の駅のように市内農家の農産物がまとめて置いてあるところがあれば女性を始め多くの人が行くと思う。 ○ アンケート結果に「みどりっ子」は小さいという意見があった。確かに道の駅は魅力的である。大型バスや自家用車が駐車できる駐車場を含めた用地確保の問題はあるが、将来的には考えていきたい。 ○ アンケート結果によると、人材確保を含めて公共交通の便が課題となっている。モノレール延伸を待っていても仕方がないので、循環バス等で人が動きやすい環境づくりが必要である。 ◎ 公共交通機関の利便性はどうか。 ○ 公共交通機関の利便性が低いのでどうしても車社会となっている。伊奈平地区でも駐車場の確保が大変である。 ◎ これだけの人口規模で幹線道路2本では厳しいかもしれない。 ○ 道の駅は国道沿いでなければ作れないと聞いている。道の駅に近いものができればよい。 ◎ 商店街が少ないので、そのようなものができればよい。 <p>3 議題</p> <p>(1) 産業振興ビジョンの骨子について 事務局より資料3、資料4に沿って説明。</p> <p>(質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 上位計画・関連計画の位置づけに関して、第五次長期総合計画はすでに策定されているという理解でよいか。 ● お見込みのとおりである。 ◎ 第五次長期総合計画に対して産業振興ビジョンはどのように位置付けられるのか。 ● 上位計画である第五次長期総合計画を越えた内容の位置付けは難しい。計画期間の違いは必要に応じて調整していく。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 第五次長期総合計画のもとに、具体的に産業振興をどうしていくかという位置付けでよいか。 ● お見込みのとおりである。 ○ 東京都中小企業振興ビジョンは今年3月に改訂しているので反映していただきたい。また、ゼロミッション東京戦略も追加していただきたい。 ● 承知した。 ○ 未来の武蔵村山がどうありたいのか、まちづくりの大本となる目標を掲げているが、現実をみると、工業地域では通学路の細い道をトラックが通っているのが現状である。現実と理想がかけ離れてもいけない。将来のまちの姿を具体的に見据えるほうがよい。モノレール延伸で新青梅街道に商業が集積するかもしれないが、まわりの同業者は廃業していつの間にか外部の大手企業ばかりになってしまうのではないかと。市内で古くからある店が無くなるのは寂しい。資金面だけでなく、事業者が前向きに頑張れる環境づくりや支援があった方がよい。 ◎ 伝統ある商業は活かしていかなければならない。商業は時代の動きや交通の便での人の動きに影響を受けている部分がある。産業振興ビジョンではそこをうまくカバーできれば良い。 ○ 事業環境が厳しい中、本業の商売でなく不動産で成り立っている事業者も少なくない。 ◎ 店舗がイオン等の大型商業施設に集まれば市街地の店舗は減っていくはずだが、不動産で賄っているということか。 ○ 人口が少ないエリアは商圏的に厳しく店舗が成り立たない。反対に、村山団地や大南等の人口が多いエリアは大型商業施設が近くにあっても商売が成り立つ。 ○ 伊奈平地域の道路は狭い。市が整備していれば整った工業用地として活用できたかもしれない。 ○ 地域経済を活性化するためには市内に人を呼び込むことが重要である。武蔵村山市は駅がない稀有なまちであり、村山かてうどんや村山大島紬織などPRできるものが多い。市側でそのPRを今までしてこなかったのではないかと。 ◎ 情報発信が脆弱ということか。 ● 地域資源が揃っている認識はあるが、PRが課題である。以前無料の体験ツアーを実施したが現在は行っていない。観光まちづくり協会が設立されたので、今後は協会から情報発信をしていく。協会の運営には市が支援しているが、将来的には協会独自の収益源の確保も必要である。 ◎ 村山大島紬織を知らなかった。情報発信が弱いのかかもしれない。将来像での「つむぐ」は村山大島紬織もイメージしているのか。 ● 第五次長期総合計画の将来像に「つむぐ」が入っている。統一感を持った計画体系にするため入れている。 ◎ 将来像の例示3以外は、どこにでもある印象である。 ○ 例示3の市民と事業者がつむぐという言葉はきれいだが、どういう想像をすればよいかかわからない。 ● 市内事業者と市民が連携して活性化を図っていけないかと思っている。 ○ 以前養蚕業をしていたので絹糸をつむぐというイメージを思い描いた。事業者と市民が一緒につむいで武蔵村山市を太い糸にしていくという良い印象を受けた。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業体験や工場見学があれば孫を連れていきたい。若い母親達も子供に見せたいと思っているのではないか。 ◎ 子供達が製造業を見る機会もないので、重要だと思う。 ○ 「つむぐ」という言葉について、市民と事業者だけではわからない。市民と事業者のきずなを紡ぐならわかる。 ◎ 目的語が必要である。将来像は「つむぐ」が一つのキーワードである。何をつむぐのか明確にした方がよい。 ● 「きずな」を追加するとイメージしやすいと意見があったので、追記したい。 ◎ 例示3が武蔵村山市の特性が入っている。 ○ 各分野でランドマーク的な施策をつくるプランはあるのか。 ● 現段階では新規の具体的施策名称までは書けない。新規施策を2～3年中に立ち上げることは困難である。各施策に則ったこれまでの具体的事業を踏まえて今後の方向性を掲げるのが精一杯である。 ○ 新規の施策を示せなくても、これまでの施策を改善・改良することも大いなる一歩だと思う。 ◎ 施策体系について意見をいただきたい。 ○ 特になし。 ◎ 将来像は「市民と事業者がきずなをつむぐ 賑わいのあるまち むさしむらやま」とすることでよいか。 ○ 異議なし。 ◎ 将来像は委員会に諮るのか。 ● 次回の庁内委員会に諮る。 ◎ アンケート調査結果の中で人材問題があった。何か具体的にできることはあるのか。 ● 市民の働く場づくりとして、企業誘致制度で新規雇用奨励金を出している。しかし、件数は多くない。具体的にどこまでできるか難しい問題である。 ◎ 他の自治体でもうまくやっているところは少ない。今後の施策でタイトルにはなるが、具体的な取組は難しい。高校生に工場見学、体験機会をつくった例として北九州市八幡の工業高校がある。廃校寸前の工業高校に民間出身の校長がきて、先生にも時代に合ったものづくりを学ばせ、学生は夏休みに1週間の工場職場体験に取り組んだ。その結果、入学希望者が増え、学校が生き返ったという。人材育成は学校と連携しないと難しい。 <p>(結論)</p> <p>将来像は「市民と事業者がきずなをつむぐ 賑わいのあるまち むさしむらやま」とし、庁内委員会で諮る。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後のスケジュールについて、骨子案(素案)を作成して10月上旬に次回懇談会を開催予定である。日時は決定次第知らせる。 <p>4 閉会</p>
--	---

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-----------------	---

傍聴者： _____ 0人

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： _____)
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 産業観光課(内線：227)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)